瀬戸内発見伝

巻の十四

岡山県立博物館　特別展
「吉備の渡来文化―渡り来た人々と文化―」

21世紀は国際化の時代といわれますが、国境を越えた人々や文化の交流は、わたしたちの想像以上に古くからありました。特に、中国大陸や朝鮮半島の文化は、日本の古代国家成立に大きな役割を果たしました。そして、古代吉備の繁栄にもこの渡来文化が大きくかかわっていたことが、近年の考古学研究で明らかになってきました。

今回、岡山県立博物館の特別展に瀬戸内市の遺跡から出土した渡来文物が東京国立博物館から里帰りしています。いずれも瀬戸内市の古代の繁栄を物語る貴重な資料です。

今回展示された小鈴付獅噛金具と装飾付陶棺について紹介します。

小鈴付獅噛金具

長船中学校の裏山に所在する牛文茶臼山古墳から出土した副葬品の一つです。金銅製の帯金具で、目をつり上げた獣面を浮き彫りし、下に小さな鈴をつけるものです。この金具は日本国内での出土例は畿内になく、いずれも周辺部の朝鮮半島との直接的な関係を推測できる地域で数例出土しているのみです。また、朝鮮半島でも百済や伽耶地域でわずかにみられる貴重品です。

装飾付陶棺

長船平野の南に位置する桂山の頂上から東へ下った標高50メートルの斜面に所在する本坊山古墳から、明治16年に陶棺と須恵器の杯が出土しました。

陶棺は切妻形で須恵質のもので、蓋の大きさは、全長176センチ、幅56センチ、身を含めた総高は85センチ。蓋・身ともに中央で二つに分割され、身には3列8個、合計24個の円筒形の脚がつけられています。身の短辺の一方には軒丸瓦に見られる複弁蓮華文が横に2個押された珍しい陶棺です。

このような蓮華文の付けられた装飾付陶棺や石棺は真庭市落合の下一色古墳の家形陶棺と奈良県御所市水泥南古墳の家形石棺しかなく、重要性がよく分かります。蓮華文を棺に飾るということは、棺に葬られた人や、陶棺の製作にかかわった人が仏教に対して知識があり、かつ信仰していた可能性を示しています。また、当時先進の仏教文化が地方へ浸透する様子を推測できる貴重な資料といえます。

さらに詳しく知りたい人は、『長船町史』史料編（上）をご覧ください。

小鈴付獅噛金具　長船町牛文茶臼山古墳出土

装飾付陶棺　長船町本坊山古墳出土

関連行事として、岡山県指定重要無形民俗文化財「唐子踊」の公演が、2月19日(日)午前11時と午後2時から行われます。

●**展示期間**　2月3日(金)～3月5日(日)
●**場所**　岡山県立博物館
●**休館日**　毎週月曜日
●**入館料**　大人400円・高校生300円・小人80円
■**問い合わせ先**
岡山県立博物館
☎086―272―1149

ジャンプ ステップ ホップ

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。

焼きたてって最高！
手作りパン教室

「やっぱり焼きたては、最高ね」と香ばしい香りの焼きたてパンをほおばる生徒の皆さん。手作りパン教室は月1回、牛窓町鹿忍分館で開催しています。通常作るのはパン2種類と菓子1種類。この日のメニューは、パネトーネと胚芽パンとシュバルツバルダー・トルテといわれるチェリーのケーキ。

道具を用意し、材料を計量します。先生が作りながらポイント説明。それはレシピには書かれていない重要なポイント。生徒の皆さんは、手本を見ながらメモします。先生の指示のもとパン作り作業中も、和やかな雰囲気で笑い声が絶えません。

完成したパンやケーキを前にする手作りパン教室の皆さん

和気あいあいと和やかな雰囲気の中で作業は進みます

「パンはこねあげ温度が大事。材料に変化をつければ、いろんな味が楽しめます。自分の好みでいろいろ挑戦してみて」と話す露梨洋子先生。「和気あいあいと楽しいです。作るのも、食べるのも、みんなと会えるのもすごく楽しみ」と柴田澄子さん（62歳・牛窓町鹿忍）は楽しそうに話してくれました。

★**活動日時**　第2火・金曜日、第2・3土曜日のいずれかの午前9時30分～午後2時30分
★**活動場所**　牛窓町鹿忍分館
★**会費**　1回1、200円
★**代表**　那須好子さん
☎0869―34―5183

輝くひとみで22連勝中
邑久リーガース軟式野球スポーツ少年団

トスバッティング

邑久リーガース軟式野球スポーツ少年団の練習日。元気な声が響きます。

主な練習メニューは、ランニング・キャッチボール・トスバッティング・ティーバッティング・ノック・紅白戦。54人と大所帯の同団は、2・3年生と4～6年生に分かれて練習。野球好きの彼らは、みんな生き生きした表情です。

6年生は公式戦や招待試合に参加し、昨年はほとんど負け知らず。6旗の優勝旗を獲得し、9月19日以降22連勝中。主将の林慧君（12歳・邑久町豊原）は、「よく守って、よく打つのが強さの秘訣。試合に勝てたときは楽しい」と胸を張ります。守備練習を中心に、基本練習を怠らなかったこと、塁に出たら次の塁を狙って走ったことなど、懸命さが勝ちに結びつきました。

集合した5・6年生団員

大切にしているのは、「あいさつと礼儀、チームワークです」と坂田隆幸監督。子どもと育成会、指導者が一つになって練習に参加する同少年団。子どもたちのひとみが輝く背景には、大人の多くの見守りがありました。

★**活動日時**　土・日曜日・祝日　午前9時～午後5時
★**活動場所**　福田コミュニティグラウンド
★**会費**　月2、000円
★**代表**　鳥羽幸夫さん
☎0869―24―1109